

## 平成29年度 第4回 政策会議 審議結果

日時：平成29年11月13日（月）10：30～12：00

場所：5階庁議室

【議題】 第7期熊本市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）について

【提案局】 健康福祉局（高齢介護福祉課）

【出席者】 大西市長、多野副市長、植松副市長、政策局長、政策局総括審議員、  
総務局長、財政局長、市民局長、経済観光局長、都市建設局長、中央区長、  
東区長、西区長、南区長、北区長、教育長、消防局長

【付議内容】 第7期熊本市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）の内容を確定したい。

【資料】 ◇ 政策会議次第  
◇ 政策会議席次表  
◇ 付議事項調書（様式1）  
◇ 政策調整会議内容検討表（様式4）  
◇ 第7期熊本市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）の概要  
◇ 第7期熊本市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）

【審議結果】 ◆再審議

【議事概要】 ◇第7期熊本市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）について、下記の通り再審議となった。  
・本計画の中で「次期計画では高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画を分ける旨」を規定すること。  
・各区福祉部門の意見を聴取し、可能な限り計画に反映させること。

【審議の経過】◇高齢者保険福祉計画と介護保険事業計画を合わせ一つの計画としていることにより計画期間が3年に限定されているが、高齢者福祉施策は長期的視野に立つべきであり、短期間での改定にはなじまない。今後、トータルのビジョンとしての高齢者福祉に関する計画と、具体的取組に関する計画は分けて策定すべきではないか。（大西市長）

◇次期計画では各計画を分ける旨を、本計画に規定してはどうか。（多野副市長）

◇素案の策定過程において、保健福祉部長会議において、各区の意見を聴取する場を設けてほしい。（東区長）

◇現場の意見を聴取し、各区の福祉部門が取り組みやすい計画とすることは、地域主義の観点からも重要。(大西市長)